

浜松かんゆう会の概要 (会則より一部抜粋)

- * 会員は浜松市およびその周辺に居住する肝臓病患者と家族、支援者個人とします。
- * 会は会長、副会長(2名)、事務局長、会計の5名の理事と監事で管理運営します。
- * 事業年度を4月から翌年3月までとします
- * 定期総会を5月または6月に開催します。
- * 会の運営は会費と助成金、寄付金、事業収入によってまかなわれます。
- * 会費は年額一口3000円とします。



画：朝倉田美子

協賛：静岡県肝臓病療養支援ネット

浜松かんゆう会 協力医師



【浜松市】

浜松医大学付属病院	小林 良正 先生
聖隷浜松病院	長澤 正通 先生
浜松医療センター	影山 富士人先生
つがね消化器科・内科医院	竹平 安則 先生
エルム内科クリニック	中島 猛行 先生
たまこクリニック	玉腰 勝敏 先生

【磐田市】

北原医院 北原 大文 先生

【掛川市】

中島内科医院 中島 洋 先生

浜松市保健所 浜松市中区鴨江2丁目11-2
保健予防課 053-453-6118
静岡県西部保健所 磐田市見付3599-4
県中遠総合庁舎西館2階
地域医療課 0538-37-2521

問い合わせ 事務局

〒424-0885 静岡市清水区草薙杉道3-6-6
静岡県肝臓病療養支援ネット
代表世話人 見機 明 (ミキ アキラ)
電話&FAX 054-374-0293
e-mail a-miki@mail.wbs.ne.jp

静岡県西部・浜松市と近辺の肝臓病患者
および家族の皆様へ

浜松かんゆう会 ご案内



浜松かんゆう会は生まれたばかりです。会員も少ない現状ですが、会として大きな希望をもってスタートしました。

一人で悩まないで、ぜひ会に入って仲間と話してみましよう。必ず何か得るものがあるはず。嬉しいことに、専門医の先生方が協力して下さいます。

また、保健所や弁護士の支援もあります。迷う方は一度、問い合わせだけでもしてください。お待ちしております。

会長 渡辺 憲一

浜松かんゆう会の 目指していること

- ① 肝臓病に関する正しい知識をもつ。
- ② 会員相互が親睦を図り、情報交換する。
- ③ 適切な治療を受けられる環境をつくるため協力する。

実現するために

1. 肝疾患診療拠点病院や開業の専門医の先生方の協力をいただき、市民公開講座などを開催します。
2. 困難な治療に苦しんでいる重症の患者が専門医の相談を受けられる相談会を開きます。
3. 同じ肝臓病の仲間と語り合い、親睦を図る懇談会を企画します。
4. 自覚症状のない肝臓病患者に早期治療を勧奨するよう、医療機関や保健所と連携を図ります。
5. 患者やその家族が運営に参加して、安心して療養できる医療制度を探求します。



【煩わしくても地域医療連携を早く実現して欲しい】

肝臓病の実態と治療

日本の肝臓癌死亡者数は、年々増加の一途をたどり、近年では年間約3万5千人と肺癌、胃癌、大腸癌に次いで第4位となっています。この肝臓癌の主な原因は、C型肝炎およびB型肝炎です。このウイルス肝炎は、慢性肝炎として、ほとんど自覚症状がないまま緩徐に進行し、知らないうちに肝硬変や肝臓癌へと進みます。

C型肝炎による肝臓癌を最も効果的に予防するためには、ウイルス排除が重要です。この数十年におけるC型肝炎の抗ウイルス療法の進歩は目覚しく、ペグインターフェロン・リバビリン併用療法の登場により、治りにくいとされていたタイプのC型肝炎（1型・高ウイルス量）でも約50%の人にウイルス排除が見られるようになりました。

一方、B型肝炎については、いまだウイルスを排除できる薬剤はありませんが、ウイルスの増殖を抑制することにより肝臓癌および肝炎の進展は抑制できます。インターフェロン長期投与、経口薬の抗ウイルス薬（ラミブジン、アデフォビル、エンテカビル）の登場により、高い効果を上げています。

抗ウイルス療法の適応については、肝臓専門医に相談されることをお勧めします。

静岡県肝疾患連携拠点病院・浜松医科大学附属院
肝臓内科 小林良正

肝硬変・肝臓癌を予防する 静岡県の肝炎対策

静岡県では、ウイルス性肝炎の肝硬変や肝臓癌への進行を予防するため、相談・検査から治療まで継ぎ目のない総合的な肝炎対策を推進しています。

まず、肝炎ウイルス検査は、市町の肝炎ウイルス検診に加えて、県内の保健所や専門的な治療が可能な30カ所の地域肝疾患診療連携拠点病院で、無料検査を実施しています。

次に、相談・医療体制については、上記の30カ所のうち、2カ所の県肝疾患診療連携拠点病院に指定した順天堂大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院に「静岡県肝疾患相談支援センター」を設置し、肝疾患に関する相談を無料で受け付けています。これらの病院とかかりつけの医療機関との連携を進めることで、身近なところで治療が続けられる体制の整備を進めています。

さらに、本年4月からは、医療費助成制度を改正し、B型肝炎の核酸アナログ製剤治療を助成の対象に追加し、C型肝炎の一部では2回目の制度利用が可能となったほか自己負担額の軽減を図りました。これらの相談や申請については、お近くの保健所にお気軽にお問い合わせください。

静岡県健康福祉部医療健康局
疾病対策課